

ICHIANA 探究 のすすめ

尼崎市立尼崎高等学校 探究通信

令和8年9月11日 第1号

「好き」から「行動」へ

ICHIANA 探究の3年間

本校では、スクールポリシー（教育活動の方針）のカリキュラムポリシーにあるように、自ら課題を設定し、課題解決能力を伸ばす探究活動を行っています。

その中心が「総合的な探究の時間」です。

1年生は、自分たちの「興味・好き」に焦点を当て、そこから出てくる問いを調査・実験しながら考察し、情報をまとめてスライドでグループ発表をします。

2年生では、体育科・普通科文系クラスは、身近な困りごとから課題を解決するビジネスプランを、理系クラスは自分たちで設定したテーマについて科学的に探究した成果を、それぞれA1サイズのポスターで発表します。

3年生は1、2年生で学んだことを活かし、進路実現に向けたテーマで個人探究をします。

どの学年も、インターネット上の情報をまとめるだけでなく、実験、フィールドワーク、インタビュー、アンケートなど「一次情報」にもとづいた探究活動を大切にしています。

このたび、本校探究通信「ICHIANA 探究のすすめ」を発行することになりました。各学年の取り組みを紹介します。

中間発表会に向けて準備中

1年生は「興味・好き」なものからテーマを設定し、仮説を立てたあと、その仮説が正しいかどうか検証しています。10月の中間発表会に向けて、準備中です。

なぜ教科によって色のイメージが共通なのか



1年E組8班のテーマは「なぜ教科によって色のイメージが共通なのか」です。テーマの発案者であるMさんは「数学のノートを買う時、無意識に水色を選んでいて『なんで?』と思ったのがきっかけ」と話します。仮説を「教科書販売業者が教科によって色を固定化して教科書を売ったから」とし、班のメンバーは小・中学校時代のノートや教科書の色を見直し、教科ごとの傾向を調査しています。現在はアンケートの集計中で、Mさんは「多くの人が同じ色を選ぶ傾向にあり、その意識がどこから来ているのか辿っていきたい」と意気込んでいました。

穴あきジーンズ「美しい」「汚い」の境界線は?



1年H組（国際総合類型）2班のテーマは「穴あきジーンズ『美しい』と『汚い』の境界線は?」。ジーンズ好きのSさんが発案し、ダメージの異なるジーンズの写真5枚を見てもらい、どこまでがおしゃれで、どこまでが恥ずかしいかを聞くアンケートを行う予定。Sさんは「年代別や国別の傾向も調べてみたい」と話していました。